

自己アピール文

1：今までに成し遂げた一番の挑戦

私の一番の挑戦は、高校生の頃に行った「校内 e スポーツ大会」の開催です。情報処理部に所属していたのですが、新たに入部してくれる人が 3 人しかおらずとても悩んでいました。そこで、入部してくれる人が増え、なおかつ、後輩たちに受け継がれるようなものを作りたいと考え、当時話題になっていた e スポーツに挑戦しようと思いました。最初は部長と私の 2 人で顧問の先生に相談しましたが、あまり賛同してくれませんでした。ですが、意見に賛同してくれた部のメンバーを合わせ 6 人で明確な計画や目標、熱意を伝え、顧問の先生を説得し、賛同を得ることができました。まず段取りを確認するために練習として部のメンバー 6 人で役割分担をしてプロジェクターや景品、ゲーム機などの必要なものを学校に揃え、模擬大会を行いました。そして、新入生歓迎会で宣伝活動を行い、大会を開催しました。人を動かすには信用を得ることができるよう明瞭に伝える必要があるということや、一致団結してものごと成し遂げる楽しさを経験することができました。その後、新たに入部してくれる人も増え、現在も定期的に大会が開催されていると聞いています。

2：チームで行動する際、気を付けていること

二つのことを意識して取り組むようにしています。

一つ目は、チームのメンバーが適切な量と役割をもって行動できるように意識することです。チームでゲームを制作する際に、一人だけ膨大な量の仕事をして非常に辛そうな人を見かけたり、チーム制作後に実は自分になかった考え方や知識を多く持っていたことに気づいたりなど、もっと早く対応できていればさらに良い結果だったのではないかと思ったことがあります。ですので、まずは最初のコミュニケーションを大切にし、その人の能力に見合った作業内容と期限になるように調整を行います。また、途中適切でないと感じたときは早めに相談し、調整をとれるようにしています。

二つ目は、チーム全体が前向きに作業に取り組めるように意識することです。やってほしいことを完了してくれたときは、必ず明るい雰囲気です「ありがとう！」と感謝の言葉を伝えるようにしています。他のメンバーに自分の意見を伝えたり、もう少し頑張ってもらいたいことを伝えたりするときは、「〇〇じゃなくて××して」と強い命令形の言葉をなるべく避け、「〇〇じゃなくて××のほうがいいんじゃない？」と疑問文にして他の人との軋轢を生まないようにしています。

次のページに続きます。

3：長期間打ち込んできたこと

高校生 2 年生のころから現在までピアノの演奏に打ち込んでいます。毎日聴くほど好きなロックバンドの曲があり、そのバンドのメンバーが演奏している姿がとてまかつこよく、憧れを抱いていました。そこで、自分も演奏してみたいと思い、音楽の先生に許可を取り、息抜きとして昼休みや放課後に音楽室にあるピアノを演奏させてもらっていました。楽譜は全く読めず、コードもわからないのですが、YouTube で様々な人が演奏している映像を頼りに、まったく同じような演奏ができるように、毎日復習しながら音や指の位置を少しずつ覚えていきました。卒業するころにはほぼ完璧に演奏できるようになり、多くの先生方に褒めていただくことができました。現在はストリートピアノで新しい曲が弾けるように練習しています。時々、拍手してくださる方や褒めてくださる方がいらっしゃるのもっと頑張ろうと思う原動力となっています。

4：自己 PR

二つ目は、オリジナル開発はもちろん、有名タイトルの受託開発から海外ゲームのローカライズまで様々なゲーム開発に携われる横幅の広さ

真摯に他人の意見に向き合うようにしています。校内ゲーム制作展に出展したことがありますが、様々な遊んでいただくと、自分や友達だけでは思いつかなかった様々な視点や、言われてみれば「たしかにその通りだなあ…」と思うような的を射た発言をいただくことが多く、「ほかにどんな意見があるのだろう」と興味がわいたので、通りかかった人に声を掛けるなどのアピールをしました。その結果、出展した人の中で一番多くゲームを遊んでいただくことができました。この経験から意見を貰うだけではなく、ゲームを遊んでいる人の姿を思い浮かべながら作るようになりました。